

Japanese  
The Mother Church & Her Daughters  
TCA-225MOT

# 母教会と彼女の娘達



ウィリアム・マリオン・ブラハム



Japanese  
The Mother Church & Her Daughters  
TCA-225MOT

# 母教会と彼女の娘達



ウィリアム・マリオン・ブラハム



## はじめに

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

[www.messagehub.info](http://www.messagehub.info)

## はじめに

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

[www.messagehub.info](http://www.messagehub.info)

## 母教会と彼女の娘達

黙示録2:20

「けれども、あなたには責めるべきことがある。あなたは、あの女、イゼベルをなすがままにさせている(我慢している)。この女は、預言者だと自称しているが、わたしのしもべたちを教えて惑わし、淫らなことを行わせ、偶像に献げた物を食べさせている。」

この節と一緒にその下の23節に行き、ずっと注意を喚起してきたある偉大なる真理の証明を見てほしいです。「また、この女の子どもたちを死病で殺す。こうしてすべての教会は、わたしが人の思いと心を探る者であることを知る。」聖霊がそれぞれの時代で彼らに話す時はまるでひとつの教会に話されているようだが、実は2つの教会があるのだと私は絶えずに言い続けました。ここでは教会が複数あると明言しており、その中のいくつかは主は人の思いと心を探る方であることを明らかに知らないとはっきり言われています。主は彼らにそうだと証明されるつもりです。さて、どのような教会がこの真理を知らないのでしょうか。もちろんそれは偽りのブ

## 母教会と彼女の娘達

黙示録2:20

「けれども、あなたには責めるべきことがある。あなたは、あの女、イゼベルをなすがままにさせている(我慢している)。この女は、預言者だと自称しているが、わたしのしもべたちを教えて惑わし、淫らなことを行わせ、偶像に献げた物を食べさせている。」

この節と一緒にその下の23節に行き、ずっと注意を喚起してきたある偉大なる真理の証明を見てほしいです。「また、この女の子どもたちを死病で殺す。こうしてすべての教会は、わたしが人の思いと心を探る者であることを知る。」聖霊がそれぞれの時代で彼らに話す時はまるでひとつの教会に話されているようだが、実は2つの教会があるのだと私は絶えずに言い続けました。ここでは教会が複数あると明言しており、その中のいくつかは主は人の思いと心を探る方であることを明らかに知らないとはっきり言われています。主は彼らにそうだと証明されるつもりです。さて、どのような教会がこの真理を知らないのでしょうか。もちろんそれは偽りのブ

ドウの木のグループであり、なぜなら真の信者たちはもちろん裁きは神の家から始まると知っていて[1ペテロ4:17]、彼らは神を恐れているので、裁かれないように自分たちを裁きます[1コリント11:31]。

さてそれらの教会は偽のブドウの木であるにもかかわらず、なぜ神はこれらの教会を御自分の教会だと呼びになるのでしょうか。この問題の真相は彼らがクリスチャンだからです。しかし彼らは御霊のクリスチャンではありません。彼らは肉のクリスチャンです。彼らは御名を背負っても虚しいです。マルコ7:7、「彼らがわたしを礼拝しても、むなしい。人間の命令を、教えとして教えるのだから。」しかし彼らはもちろんクリスチャンです、それ以外彼らは何になることができるでしょうか。イスラム教徒はイスラム教徒です。彼がどのように生きようと、それが彼の宗教であり、なぜなら彼は理論上コーランの教えに同意したからです。

同じようにイエスは神の御子、処女から生まれ、十字架につけられ亡くなり、そして再び蘇られ、人間の救い主でいらっしゃるなどのことに同意するなら、そのクリスチャンはクリスチャンです。(実際、ラオディキア教会では自分たちのことをクリスチャンと呼ぶ者が現れます、なぜなら彼らはイエスの良き資質に同意しつつ、主

ドウの木のグループであり、なぜなら真の信者たちはもちろん裁きは神の家から始まると知っていて[1ペテロ4:17]、彼らは神を恐れているので、裁かれないように自分たちを裁きます[1コリント11:31]。

さてそれらの教会は偽のブドウの木であるにもかかわらず、なぜ神はこれらの教会を御自分の教会だと呼びになるのでしょうか。この問題の真相は彼らがクリスチャンだからです。しかし彼らは御霊のクリスチャンではありません。彼らは肉のクリスチャンです。彼らは御名を背負っても虚しいです。マルコ7:7、「彼らがわたしを礼拝しても、むなしい。人間の命令を、教えとして教えるのだから。」しかし彼らはもちろんクリスチャンです、それ以外彼らは何になることができるでしょうか。イスラム教徒はイスラム教徒です。彼がどのように生きようと、それが彼の宗教であり、なぜなら彼は理論上コーランの教えに同意したからです。

同じようにイエスは神の御子、処女から生まれ、十字架につけられ亡くなり、そして再び蘇られ、人間の救い主でいらっしゃるなどのことに同意するなら、そのクリスチャンはクリスチャンです。(実際、ラオディキア教会では自分たちのことをクリスチャンと呼ぶ者が現れます、なぜなら彼らはイエスの良き資質に同意しつつ、主

主の真理に耳を傾けられますように。

の神性を否定しようとし、キリスト・サイエンスはすでにそうで、その他にも同様に多くの社会的福音を伝えるところが多くあります。)彼は名ばかりのクリスチャンで、教会に属します。しかし彼は真のもしくは霊的な信者ではありません。そのような信者はバプテスマを受けてキリストの体の中に入り、主の一員となります。しかしそれでもなお、神のご命令は毒麦を麦と一緒に成長させ、抜き出さないことです。それが神が命令されたことです。彼らが縛られ焼かれる日がいずれ来ますが、まだその時期ではありません。

そのため御霊はこの混ざっているグループに言われました。一方で主は称賛をされ、一方で責められます。主は真の信者が正しいであることを話されました。今、主は偽のブドウの木が主の御前で義とされるためにすべきことを警告されました。

### イザベル 母教会

使徒ヤコブは私たちに罪はどうやって起きるかを示してくれました。

ヤコブ1:14-15

「人が誘惑にあうのは、それぞれ自

主の真理に耳を傾けられますように。

の神性を否定しようとし、キリスト・サイエンスはすでにそうで、その他にも同様に多くの社会的福音を伝えるところが多くあります。)彼は名ばかりのクリスチャンで、教会に属します。しかし彼は真のもしくは霊的な信者ではありません。そのような信者はバプテスマを受けてキリストの体の中に入り、主の一員となります。しかしそれでもなお、神のご命令は毒麦を麦と一緒に成長させ、抜き出さないことです。それが神が命令されたことです。彼らが縛られ焼かれる日がいずれ来ますが、まだその時期ではありません。

そのため御霊はこの混ざっているグループに言われました。一方で主は称賛をされ、一方で責められます。主は真の信者が正しいであることを話されました。今、主は偽のブドウの木が主の御前で義とされるためにすべきことを警告されました。

### イザベル 母教会

使徒ヤコブは私たちに罪はどうやって起きるかを示してくれました。

ヤコブ1:14-15

「人が誘惑にあうのは、それぞれ自

分の欲に引かれ、誘われるからです。

そして、欲がはらんで罪を生み、罪が熟して死を生みます。」

さてそれは実際それらの教会時代中で起きていることの描写です。罪は他でもない感覚的なことから始まるのと同じように、教会の死はニコライ派のシンプルであまり気づかれない行いから始まりました。それは行いから教義に発展しました。教義から政府の力を手に入れ、異教を導入しました。今この時代において、それは自分の女預言者(教師)のところに行き、そしてさらに前進し、最終的に自分が火の湖の中にいることに気づきます、なぜならそこは実際それが第二の死で終わるところです。

神がこの第4の時代に対する全ての反対の叫びをこの女預言者イゼベルに対する非難の中で見つけることができます。実際なぜ主が彼女をそこまで非難されるのかを理解するために、聖書の中での彼女の歴史を調べる必要があります、そこで彼女が何をしたのかを見つければ、この時代に何が起きているのかを知ることができます。

イゼベルについて一番最初に知る重要なことは、

分の欲に引かれ、誘われるからです。

そして、欲がはらんで罪を生み、罪が熟して死を生みます。」

さてそれは実際それらの教会時代中で起きていることの描写です。罪は他でもない感覚的なことから始まるのと同じように、教会の死はニコライ派のシンプルであまり気づかれない行いから始まりました。それは行いから教義に発展しました。教義から政府の力を手に入れ、異教を導入しました。今この時代において、それは自分の女預言者(教師)のところに行き、そしてさらに前進し、最終的に自分が火の湖の中にいることに気づきます、なぜならそこは実際それが第二の死で終わるところです。

神がこの第4の時代に対する全ての反対の叫びをこの女預言者イゼベルに対する非難の中で見つけることができます。実際なぜ主が彼女をそこまで非難されるのかを理解するために、聖書の中での彼女の歴史を調べる必要があります、そこで彼女が何をしたのかを見つければ、この時代に何が起きているのかを知ることができます。

イゼベルについて一番最初に知る重要なことは、

もし夜がない地を抱きしめられることの約束を必要とする人がいたら[黙示録21:25]、それは暗黒時代の人です。そしてそれがなぜ御霊が彼らに明けの明星を約束されたかの理由です。御霊は彼らに星々の主イエスが、誰も近づくことができない光の中に住まれるイエスが、これから来る国で御自分の臨在で彼らを照らされると教えています。主はもはや星(使者たち)を使って暗黒に光をもたらすことをされません。それはイエス御自身が、御自身の国を彼らと分かち合う時、彼らに面と向かって語られます。

明けの明星は朝日が輝き始める時に見えるのです。私たちの太陽、(イエス)が来られる時、もはや使者を必要としません、主は私たちに御自分の大いなる喜びのメッセージをもたらされます。そして主が御自分の御国を治められる時、私たちは主の御臨在の中で生き、御言葉の光は私たちの完全な日にいよいよ輝きます。[箴言4:18]

イエス以外、私たちは何を望みましょうか。主が全て、完璧な全てではありませんか。

耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。アーメン。主神よ、私たちが主の御霊によって、

もし夜がない地を抱きしめられることの約束を必要とする人がいたら[黙示録21:25]、それは暗黒時代の人です。そしてそれがなぜ御霊が彼らに明けの明星を約束されたかの理由です。御霊は彼らに星々の主イエスが、誰も近づくことができない光の中に住まれるイエスが、これから来る国で御自分の臨在で彼らを照らされると教えています。主はもはや星(使者たち)を使って暗黒に光をもたらすことをされません。それはイエス御自身が、御自身の国を彼らと分かち合う時、彼らに面と向かって語られます。

明けの明星は朝日が輝き始める時に見えるのです。私たちの太陽、(イエス)が来られる時、もはや使者を必要としません、主は私たちに御自分の大いなる喜びのメッセージをもたらされます。そして主が御自分の御国を治められる時、私たちは主の御臨在の中で生き、御言葉の光は私たちの完全な日にいよいよ輝きます。[箴言4:18]

イエス以外、私たちは何を望みましょうか。主が全て、完璧な全てではありませんか。

耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。アーメン。主神よ、私たちが主の御霊によって、

「夜が明けて、明けの明星があなたが  
たの心に昇るまでは。」

したがって、御霊は暗黒時代に御自分とつながっている選民そしてこれからくる時代の選民たちにある約束をされました。

すでに言ったように、イエスはご自身のことをそれぞれの時代の使者の中に表されます。彼らは主からそれぞれの時代のための御言葉の啓示を受けます。この御言葉は神の選民を世界から連れ出しそしてイエス・キリストと連合するように導きます。これらの使者たちは星と呼ばれ、なぜなら彼らは御子イエスから借りたもしくは反射で光る光で輝きます。彼らも星と呼ばれ、なぜなら彼らは夜に「ともしびを持つ者」だからです。したがって罪の暗黒の中で、彼らは神の光を神の人々にもたらしました。

これは暗黒時代です。主の御言葉にとってそれは特に暗い時期で、なぜなら神の御言葉はほぼ人々たちから隠されました。いと高き方に対する知識はほとんど消えました。死は多くの信者に勝ち、信者の大部分が殺されるまでに至りました。神のことはこの時最も減退し、サタンが神の人々に勝ったように見えました。

「夜が明けて、明けの明星があなたが  
たの心に昇るまでは。」

したがって、御霊は暗黒時代に御自分とつながっている選民そしてこれからくる時代の選民たちにある約束をされました。

すでに言ったように、イエスはご自身のことをそれぞれの時代の使者の中に表されます。彼らは主からそれぞれの時代のための御言葉の啓示を受けます。この御言葉は神の選民を世界から連れ出しそしてイエス・キリストと連合するように導きます。これらの使者たちは星と呼ばれ、なぜなら彼らは御子イエスから借りたもしくは反射で光る光で輝きます。彼らも星と呼ばれ、なぜなら彼らは夜に「ともしびを持つ者」だからです。したがって罪の暗黒の中で、彼らは神の光を神の人々にもたらしました。

これは暗黒時代です。主の御言葉にとってそれは特に暗い時期で、なぜなら神の御言葉はほぼ人々たちから隠されました。いと高き方に対する知識はほとんど消えました。死は多くの信者に勝ち、信者の大部分が殺されるまでに至りました。神のことはこの時最も減退し、サタンが神の人々に勝ったように見えました。

彼女はアブラハムの子孫でもなく、モアブの女性ルツのように霊的な方法でイスラエルの部族に入ったわけでもないということです。いいえ。この女性はシドン人の王エテバアルの娘であり(1列王16:31)、その王はアスタルテの祭司でした。彼は前任の王のフェリスを殺害することで王位を手に入れました。そのため彼女は殺人犯の娘であると見ることができます。(これはもちろんカインのことを思い出させます。)そして彼女がイスラエルの一部になったのは神が異邦人が入るために定められた霊的な通路によるのではなく、イスラエルの10の部族の王であるアハブと結婚することによるものでした。見た通り、この連合は霊的なものではなく、政治的なものでした。したがって偶像崇拜に浸っているこの女性は唯一の真の神の崇拜者になる願望はまったくなく、逆に彼女はイスラエルを主から背けさせると公言してやって来ました。

今イスラエル(その10個の部族)はすでに金の子牛を崇拝するのはどうということかを知りましたが、彼らはまだ偶像崇拜に自分たちを売り出していない、なぜなら神は崇拝されそしてモーセの律法は認められているからです。しかしアハブがイゼベルと結婚して以来、偶像崇拜は迅速に蔓延しました。この女性が自分がアスタルテ(ヴィーナス)そしてバアル(太陽神)のた

彼女はアブラハムの子孫でもなく、モアブの女性ルツのように霊的な方法でイスラエルの部族に入ったわけでもないということです。いいえ。この女性はシドン人の王エテバアルの娘であり(1列王16:31)、その王はアスタルテの祭司でした。彼は前任の王のフェリスを殺害することで王位を手に入れました。そのため彼女は殺人犯の娘であると見ることができます。(これはもちろんカインのことを思い出させます。)そして彼女がイスラエルの一部になったのは神が異邦人が入るために定められた霊的な通路によるのではなく、イスラエルの10の部族の王であるアハブと結婚することによるものでした。見た通り、この連合は霊的なものではなく、政治的なものでした。したがって偶像崇拜に浸っているこの女性は唯一の真の神の崇拜者になる願望はまったくなく、逆に彼女はイスラエルを主から背けさせると公言してやって来ました。

今イスラエル(その10個の部族)はすでに金の子牛を崇拝するのはどうということかを知りましたが、彼らはまだ偶像崇拜に自分たちを売り出していない、なぜなら神は崇拝されそしてモーセの律法は認められているからです。しかしアハブがイゼベルと結婚して以来、偶像崇拜は迅速に蔓延しました。この女性が自分がアスタルテ(ヴィーナス)そしてバアル(太陽神)のた

めに建てた神殿の女預言者になった時、イスラエルは生命の危機に瀕しました。

このことを念頭に置いたら、神の御霊がこのティアティア時代で指し示されたいことを見始めることができます。ではいきましょう。

アハブは自分の王国を強め守りたいという政治的な策略のもとでイゼベルと結婚しました。これはまさに教会がコンスタンティヌスと結婚した時に行ったことでした。霊的な雰囲気を出していたが、彼らは共に政治的な理由で連合しました。さて誰もコンスタンティヌスがクリスチャンだったと私に納得させることができません。彼はクリスチャンを装った異教徒でした。彼は兵士の盾に白い十字架を描きました。彼はコロンブス騎士団の創始者でした。彼はソフィア大聖堂の尖塔に十字架を置きましたが、そこからある伝統を始めました。

異教徒、名ばかりのクリスチャン、そして真のクリスチャンをみんな集めることがコンスタンティヌスのアイディアでした。そしてしばらくの間彼が成功したように見えました、なぜなら真の信者はやってきて御言葉から遠ざかった人たちを取り戻そうとしました。その人たちを真理の中に戻すことができないのがわかると、彼らはその

めに建てた神殿の女預言者になった時、イスラエルは生命の危機に瀕しました。

このことを念頭に置いたら、神の御霊がこのティアティア時代で指し示されたいことを見始めることができます。ではいきましょう。

アハブは自分の王国を強め守りたいという政治的な策略のもとでイゼベルと結婚しました。これはまさに教会がコンスタンティヌスと結婚した時に行ったことでした。霊的な雰囲気を出していたが、彼らは共に政治的な理由で連合しました。さて誰もコンスタンティヌスがクリスチャンだったと私に納得させることができません。彼はクリスチャンを装った異教徒でした。彼は兵士の盾に白い十字架を描きました。彼はコロンブス騎士団の創始者でした。彼はソフィア大聖堂の尖塔に十字架を置きましたが、そこからある伝統を始めました。

異教徒、名ばかりのクリスチャン、そして真のクリスチャンをみんな集めることがコンスタンティヌスのアイディアでした。そしてしばらくの間彼が成功したように見えました、なぜなら真の信者はやってきて御言葉から遠ざかった人たちを取り戻そうとしました。その人たちを真理の中に戻すことができないのがわかると、彼らはその

そして自分に屈しなかった人々をさらに何百万も殺そうとしています。彼女は気が向くままに王たちを立てたり失脚させたりします。はい、彼女の干渉は国々を崩壊させました、なぜなら彼女は神の選民を破壊しようと決めたからです。彼女のわざは悪魔のわざで、なぜなら彼女は彼のように人を殺し、嘘をつくからです。しかしあくる日主はこう言われます、「これらのわたしの敵どもをわたしの目の前に連れて来て、彼らを打ち殺せ。」[ルカ 19:27]主の義の御怒りが冒瀆者たちに降り注ぐ時、義人たちは彼らの主とともにいます。義人は栄光の中で主とともに来て、地球を破壊して神の聖徒たちを傷つけた者たちを破壊します。これは「左の頬も向けさせる」時代[マタイ5:39]、恐ろしい苦難に満ちた時代、しかしある日、真理が打ち勝つ時に誰がその火の前に無事に立ってられるのでしょうか。主に贖われた者たちのみです。

「わたしは明けの明星を与える。」

黙示録22:16、そして2ペテロ1:19によると、イエスは明けの明星です。

「わたしはダビデの根、また子孫、輝く明けの明星である。」

そして自分に屈しなかった人々をさらに何百万も殺そうとしています。彼女は気が向くままに王たちを立てたり失脚させたりします。はい、彼女の干渉は国々を崩壊させました、なぜなら彼女は神の選民を破壊しようと決めたからです。彼女のわざは悪魔のわざで、なぜなら彼女は彼のように人を殺し、嘘をつくからです。しかしあくる日主はこう言われます、「これらのわたしの敵どもをわたしの目の前に連れて来て、彼らを打ち殺せ。」[ルカ 19:27]主の義の御怒りが冒瀆者たちに降り注ぐ時、義人たちは彼らの主とともにいます。義人は栄光の中で主とともに来て、地球を破壊して神の聖徒たちを傷つけた者たちを破壊します。これは「左の頬も向けさせる」時代[マタイ5:39]、恐ろしい苦難に満ちた時代、しかしある日、真理が打ち勝つ時に誰がその火の前に無事に立ってられるのでしょうか。主に贖われた者たちのみです。

「わたしは明けの明星を与える。」

黙示録22:16、そして2ペテロ1:19によると、イエスは明けの明星です。

「わたしはダビデの根、また子孫、輝く明けの明星である。」

わたしも父から支配する権威を受けたが、それと同じである。また、勝利を得る者には、わたしは明けの明星を与える。

耳のある者は、御霊が諸教会に告げられることを聞きなさい。』』

「勝利を得る者、最後までわたしのわざを守る者」

御霊が働きを評価される観点から見ると、主はご自分の人々にご自分が義の働きに対する意見をわからせようとしていることが明らかです。主は4回働きに言及されました。そして今、最後まで主の御わざを守る者には、諸国の民を支配する権威が与えられる、そして強くて有能で、屈しない支配者、どんな状況でも対応でき、最も凶悪な敵でさえも撃破することができる支配者になると主は言われました。その力のある支配の表れは神の御子の様です。これはとても驚くべきことです。

しかしこの時代の光でこの約束を見てみましょう。力強いローマが政府の支持を得て、王たちと軍隊たちそして立法者たちを雇用し、自分の目の前のものを全て破壊し粉々にします。彼女は何百万もの人々を殺し、

わたしも父から支配する権威を受けたが、それと同じである。また、勝利を得る者には、わたしは明けの明星を与える。

耳のある者は、御霊が諸教会に告げられることを聞きなさい。』』

「勝利を得る者、最後までわたしのわざを守る者」

御霊が働きを評価される観点から見ると、主はご自分の人々にご自分が義の働きに対する意見をわからせようとしていることが明らかです。主は4回働きに言及されました。そして今、最後まで主の御わざを守る者には、諸国の民を支配する権威が与えられる、そして強くて有能で、屈しない支配者、どんな状況でも対応でき、最も凶悪な敵でさえも撃破することができる支配者になると主は言われました。その力のある支配の表れは神の御子の様です。これはとても驚くべきことです。

しかしこの時代の光でこの約束を見てみましょう。力強いローマが政府の支持を得て、王たちと軍隊たちそして立法者たちを雇用し、自分の目の前のものを全て破壊し粉々にします。彼女は何百万もの人々を殺し、

政治的体制から離れることを強要されました。そうした時、彼らは異端と呼ばれ迫害されました。

ここで言わせてください、私たちのところで今まさに同じことが起きているのです。人々は集まってきます。彼らはユダヤ教であろうと、カトリックであろうと、プロテスタントであろうと、みんなに合うような聖書を書いています。彼らは自分たちのニカイア公会議を持っているが、それをエキュメニカル公会議と呼びます。これらの組織は誰と戦っていると思いますか。彼らは真のペンテコステ信者と戦っています。ペンテコステ派と呼ばれる組織を指しているわけではありません。聖霊に満たされることでペンテコステ信者となり、真理の中で歩んでいるので、その間にしるしと賜物があるという人々を指しています。

アハブが政治的な理由でイゼベルと結婚した時、彼は自分の長子の権利を売りました。信じようと信じまいと、ある組織に参加すると自分の長子の権利を売ることになります、兄弟よ。全てのプロテスタントグループは出てそして戻って自分たちの長子の権利を売りました、そして長子の権利を売った時、エサウのようにどれくらい泣き悔い改めようと、もうどうすることもできません [創世記27:38]。唯一できることは、「彼女から出て行き

政治的体制から離れることを強要されました。そうした時、彼らは異端と呼ばれ迫害されました。

ここで言わせてください、私たちのところで今まさに同じことが起きているのです。人々は集まってきます。彼らはユダヤ教であろうと、カトリックであろうと、プロテスタントであろうと、みんなに合うような聖書を書いています。彼らは自分たちのニカイア公会議を持っているが、それをエキュメニカル公会議と呼びます。これらの組織は誰と戦っていると思いますか。彼らは真のペンテコステ信者と戦っています。ペンテコステ派と呼ばれる組織を指しているわけではありません。聖霊に満たされることでペンテコステ信者となり、真理の中で歩んでいるので、その間にしるしと賜物があるという人々を指しています。

アハブが政治的な理由でイゼベルと結婚した時、彼は自分の長子の権利を売りました。信じようと信じまいと、ある組織に参加すると自分の長子の権利を売るようになります、兄弟よ。全てのプロテスタントグループは出てそして戻って自分たちの長子の権利を売りました、そして長子の権利を売った時、エサウのようにどれくらい泣き悔い改めようと、もうどうすることもできません [創世記27:38]。唯一できることは、「彼女から出て行き

なさい、彼女の罪に関わらないように！」することです[黙示録18:4]。もし私が正しいと思っていないなら、この質問に教えてください。組織に入り宗派になってからリバイバルが起きた教会や神の運動がありますか？これについて誰か私に教えてください。歴史を読んでください。ひとつも、ひとつでさえも見つからないのです。

イスラエルが世界と連合し、政治的な理由で霊的なことを離れた時、それはイスラエルにとって真夜中の時でした。教会がニカイアで同じことをした時、それは教会の真夜中でした。教会が集まって来る今、それは真夜中の時です。

アハブがイゼベルと結婚した時、彼は彼女が政府の金銭でアスタルテとバアルを崇拝するための二つの大きい建物を建てることを許しました。一つはバアルのために建てられ、全てのイスラエル人がその場所で崇拝するのに十分に大きいものでした。そしてコンスタンティヌスと教会が結婚すると、彼は教会に建物を与え、そして祭壇と偶像を置き、すでに形成されている聖職階級制度を組織しました。

イゼベルが政府の支持を得ると、自分の宗教を人々に強要し、神の預言者と祭司たちを殺しました。状

なさい、彼女の罪に関わらないように！」することです[黙示録18:4]。もし私が正しいと思っていないなら、この質問に教えてください。組織に入り宗派になってからリバイバルが起きた教会や神の運動がありますか？これについて誰か私に教えてください。歴史を読んでください。ひとつも、ひとつでさえも見つからないのです。

イスラエルが世界と連合し、政治的な理由で霊的なことを離れた時、それはイスラエルにとって真夜中の時でした。教会がニカイアで同じことをした時、それは教会の真夜中でした。教会が集まって来る今、それは真夜中の時です。

アハブがイゼベルと結婚した時、彼は彼女が政府の金銭でアスタルテとバアルを崇拝するための二つの大きい建物を建てることを許しました。一つはバアルのために建てられ、全てのイスラエル人がその場所で崇拝するのに十分に大きいものでした。そしてコンスタンティヌスと教会が結婚すると、彼は教会に建物を与え、そして祭壇と偶像を置き、すでに形成されている聖職階級制度を組織しました。

イゼベルが政府の支持を得ると、自分の宗教を人々に強要し、神の預言者と祭司たちを殺しました。状

的な経験であり、そして彼の心は御言葉を通して神の知恵と知識に照らされます。しかしサタンの深みはそこにあり、彼はこれを壊そうとします。彼はいつものようにこの神の真実の代替物を作ろうとします。どのように行うのでしょうか。彼は神の真理の知識を取り除き、「神は本当に言われたのですか」という彼の自分の言葉で御言葉を破壊します[創世記3:1]。そうしたら彼は私たちの霊の中でキリストに取って代わります。彼はそうします、イスラエルにそうさせたように、神の代わりに人の王が治めたのです。教会に加入することが新しく生まれる経験にとって代わります。サタンの深みはあの時代に入りました。そしてあのサタンの深みの実はそこから出てくる偽り、殺人そして恐ろしい犯罪です。

## 報酬

黙示録2:26-29

「勝利を得る者、最後までわたしのわざを守る者には、諸国の民を支配する権威を与える。

彼は鉄の杖で彼らを牧する。土の器を砕くように。

的な経験であり、そして彼の心は御言葉を通して神の知恵と知識に照らされます。しかしサタンの深みはそこにあり、彼はこれを壊そうとします。彼はいつものようにこの神の真実の代替物を作ろうとします。どのように行うのでしょうか。彼は神の真理の知識を取り除き、「神は本当に言われたのですか」という彼の自分の言葉で御言葉を破壊します[創世記3:1]。そうしたら彼は私たちの霊の中でキリストに取って代わります。彼はそうします、イスラエルにそうさせたように、神の代わりに人の王が治めたのです。教会に加入することが新しく生まれる経験にとって代わります。サタンの深みはあの時代に入りました。そしてあのサタンの深みの実はそこから出てくる偽り、殺人そして恐ろしい犯罪です。

## 報酬

黙示録2:26-29

「勝利を得る者、最後までわたしのわざを守る者には、諸国の民を支配する権威を与える。

彼は鉄の杖で彼らを牧する。土の器を砕くように。

るです。

エペソ3:16はこう書かれています、

「どうか御父が、その栄光の豊かさにしたがって、内なる人に働く御霊により、力をもってあなたがたを強めてくださいますように。

信仰によって、あなたがたの心のうちにキリストを住まわせてくださいますように。そして、愛に根ざし、愛に基礎を置いているあなたがたが、

すべての聖徒たちとともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになり、

人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができますように。そのようにして、神の満ちあふれる豊かさにまで、あなたがたが満たされますように。」

これらの節によれた、ある人がその人生で神の深みを経験した時、それは神の御霊が彼に注がれる個人

るです。

エペソ3:16はこう書かれています、

「どうか御父が、その栄光の豊かさにしたがって、内なる人に働く御霊により、力をもってあなたがたを強めてくださいますように。

信仰によって、あなたがたの心のうちにキリストを住まわせてくださいますように。そして、愛に根ざし、愛に基礎を置いているあなたがたが、

すべての聖徒たちとともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになり、

人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができますように。そのようにして、神の満ちあふれる豊かさにまで、あなたがたが満たされますように。」

これらの節によれた、ある人がその人生で神の深みを経験した時、それは神の御霊が彼に注がれる個人

況があまりにもひどく、その時代の預言者エリヤは自分が唯一残った者だと思ったが、神はバアルに跪かなかった者を7000人残されました[1列王19:18]。そして今、バプテスト派、メソジスト派、長老派などの宗派の中で、何人かがそこから出て神のもとに戻ってきます。私は一度も人々に敵対することをしたことがないのを知ってほしいです。それは宗派です、組織のシステムに反対しているのです。それに反対しなければなりません、なぜなら神はそれを嫌われるからです。

ここで少し止まって、先ほどティアティラでの崇拝について話したことをおさらいしましょう。私は彼らはアポロ(太陽神であった)、そして皇帝をとともに崇拝したと言いました。さて、このアポロは「悪を回避する者」と呼ばれていました。彼は悪を人々から回避させました。彼は彼らを祝福し、そして彼らにとって本当の神でした。彼は人々を教育すると考えられました。彼は崇拝、そして神殿の儀式、神々に対する奉仕、いけにえ、死、そして死後のいのちについて解釈しました。彼はやり方は三脚椅子に座る女預言者を通してこのことを行いました。おお!見えますか?ここにあのイゼベルと呼ばれる女預言者がいて、そして彼女は人々を教えています。そして彼女の教えは神のしもべたちを誘惑し、彼らに淫らなことを行わせることです。さて淫らの行為は「偶像崇

況があまりにもひどく、その時代の預言者エリヤは自分が唯一残った者だと思ったが、神はバアルに跪かなかった者を7000人残されました[1列王19:18]。そして今、バプテスト派、メソジスト派、長老派などの宗派の中で、何人かがそこから出て神のもとに戻ってきます。私は一度も人々に敵対することをしたことがないのを知ってほしいです。それは宗派です、組織のシステムに反対しているのです。それに反対しなければなりません、なぜなら神はそれを嫌われるからです。

ここで少し止まって、先ほどティアティラでの崇拝について話したことをおさらいしましょう。私は彼らはアポロ(太陽神であった)、そして皇帝をとともに崇拝したと言いました。さて、このアポロは「悪を回避する者」と呼ばれていました。彼は悪を人々から回避させました。彼は彼らを祝福し、そして彼らにとって本当の神でした。彼は人々を教育すると考えられました。彼は崇拝、そして神殿の儀式、神々に対する奉仕、いけにえ、死、そして死後のいのちについて解釈しました。彼はやり方は三脚椅子に座る女預言者を通してこのことを行いました。おお!見えますか?ここにあのイゼベルと呼ばれる女預言者がいて、そして彼女は人々を教えています。そして彼女の教えは神のしもべたちを誘惑し、彼らに淫らなことを行わせることです。さて淫らの行為は「偶像崇

拜」を意味します。それはその霊的な意味です。それは非合法的な連合です。アハブの連合とコンスタンティヌスの連合は共に非合法的なものでした。両者ともに霊的な淫行を行いました。淫らなことを行う者は皆火の湖に投げ入れられます[黙示録21:8]。神がそう言われました。

さて、カトリック教会の教え(教会は女性として表されます、それは女の人です)は神の御言葉を否定します。教皇は文字通り現代版のアポロで、人々に自分たちに加わって偶像崇拜をするように呼びかけます。ローマ・カトリック教会は今人々にとっての偽女預言者になったのです。なぜなら彼女は人々から主の御言葉を取り、罪の赦しを得られるためにすべきこと、神の祝福をもたらすことといった彼女自身の考えを人々に与え、そして司祭たちは自分たちはいのちをつかさどる権限だけでなく、死をつかさどる権限も持っていると主張するまでになったのです。彼らは煉獄があると主張し教えるが、御言葉の中でそれを見つけることはできません。祈りとミサと金銭によって煉獄から出て天国に入ることができるのと彼らは教えます。システム全体が偽りの教えの上に建っています。それは神御自身の御言葉に対する啓示の確固たる基礎の上ではなく、それ自身の悪魔な偽りの揺れ沈む砂の上に建っています。

拜」を意味します。それはその霊的な意味です。それは非合法的な連合です。アハブの連合とコンスタンティヌスの連合は共に非合法的なものでした。両者ともに霊的な淫行を行いました。淫らなことを行う者は皆火の湖に投げ入れられます[黙示録21:8]。神がそう言われました。

さて、カトリック教会の教え(教会は女性として表されます、それは女の人です)は神の御言葉を否定します。教皇は文字通り現代版のアポロで、人々に自分たちに加わって偶像崇拜をするように呼びかけます。ローマ・カトリック教会は今人々にとっての偽女預言者になったのです。なぜなら彼女は人々から主の御言葉を取り、罪の赦しを得られるためにすべきこと、神の祝福をもたらすことといった彼女自身の考えを人々に与え、そして司祭たちは自分たちはいのちをつかさどる権限だけでなく、死をつかさどる権限も持っていると主張するまでになったのです。彼らは煉獄があると主張し教えるが、御言葉の中でそれを見つけることはできません。祈りとミサと金銭によって煉獄から出て天国に入ることができるのと彼らは教えます。システム全体が偽りの教えの上に建っています。それは神御自身の御言葉に対する啓示の確固たる基礎の上ではなく、それ自身の悪魔な偽りの揺れ沈む砂の上に建っています。

す。一つは神のもので、もう片方はサタンのもので、サタンの深みを知る者です。

「わたしはあなたがたに、ほかの重荷を負わせない。」

重荷の意味は重さもしくは圧力です。暗黒時代の圧力は頭を下げて服従するか、破壊されるかです。屈するか死ぬかです。それは宗教裁判で、皇帝の力がサタンの崇拝を支持します。組織化するか、命を支払うかです。それぞれの時代は各々の圧力があります。例えば最後の時代は富、快適な暮らしそして精神的に張り詰めることの圧力で、複雑な時代で生きるには適していないように見えます。この4つ目の時代ははっきりとした重荷があるように見えます。それはローマに反抗すること、死に至るまででさえ御言葉のために立つことです。

「『サタンの深み』を知らないあなたがた」

この節はコメンテーターたちから放置されてきたように見えます、なぜなら彼らはこのフレーズがどのような教義もしくはどのような経験を意味するのか思いつかないからです。実際これの意味を知ることは簡単です。まず神の深みを知り、そしてその逆がサタンの深みとな

す。一つは神のもので、もう片方はサタンのもので、サタンの深みを知る者です。

「わたしはあなたがたに、ほかの重荷を負わせない。」

重荷の意味は重さもしくは圧力です。暗黒時代の圧力は頭を下げて服従するか、破壊されるかです。屈するか死ぬかです。それは宗教裁判で、皇帝の力がサタンの崇拝を支持します。組織化するか、命を支払うかです。それぞれの時代は各々の圧力があります。例えば最後の時代は富、快適な暮らしそして精神的に張り詰めることの圧力で、複雑な時代で生きるには適していないように見えます。この4つ目の時代ははっきりとした重荷があるように見えます。それはローマに反抗すること、死に至るまででさえ御言葉のために立つことです。

「『サタンの深み』を知らないあなたがた」

この節はコメンテーターたちから放置されてきたように見えます、なぜなら彼らはこのフレーズがどのような教義もしくはどのような経験を意味するのか思いつかないからです。実際これの意味を知ることは簡単です。まず神の深みを知り、そしてその逆がサタンの深みとな

## それらの闇黒時代の約束

黙示録2:24-25

「しかし、ティアティラにいる残りの者たち、この教えを受け入れず、いわゆる『サタンの深み』を知らないあなたがたに言う。わたしはあなたがたに、ほかの重荷を負わせない。

ただ、あなたがたが持っているものを、わたしが行くまで、しっかり保ちなさい。」

約束日入る前に再度、この本の中で御霊によって語られた教会はお互い枝が絡まっている2本のブドウの木からなると示させてください。

「しかし、ティアティラにいる残りの者たち、この教えを受け入れないあなたがたに言う。」

ここです。主は2つのグループに話されています。一つは教えを持っていて、もう片方は持っていない。彼らはいろんな国々に分散し、互いの教えを反対していま

## それらの闇黒時代の約束

黙示録2:24-25

「しかし、ティアティラにいる残りの者たち、この教えを受け入れず、いわゆる『サタンの深み』を知らないあなたがたに言う。わたしはあなたがたに、ほかの重荷を負わせない。

ただ、あなたがたが持っているものを、わたしが行くまで、しっかり保ちなさい。」

約束日入る前に再度、この本の中で御霊によって語られた教会はお互い枝が絡まっている2本のブドウの木からなると示させてください。

「しかし、ティアティラにいる残りの者たち、この教えを受け入れないあなたがたに言う。」

ここです。主は2つのグループに話されています。一つは教えを持っていて、もう片方は持っていない。彼らはいろんな国々に分散し、互いの教えを反対していま

教会は組織から宗派へ移り、そして偽りの教えに入りました。そうです。ローマカトリックは神は御自身の御言葉の中におられることを信じません。いいえ。もし信じるなら彼らは悔い改めて戻るが、彼らは神は御自分の教会の中におられると言います。それは聖書の中身をカトリック教会の歴史へと変えてしまいます。そうではありません。彼らが水による洗礼に対しての取り扱いだけを見てみてください。彼らはクリスチャンの洗礼の代わりに異教の称号を作りました。

私とあるカトリックの司祭の話をお話ししましょう。私が洗礼した女の子があるときカトリック教徒になったので、その司祭は私に彼女について聞きたがっていました。彼は彼女はどのような洗礼を受けたのかと聞きました。私が知っている限りそれは一種類しかないが、彼女にクリスチャンの洗礼を施したと彼に教えました。私は主イエス・キリストの御名で彼女を水の中に埋めました。その司祭はある時期カトリック教会はそうしていたと私に話しました。私はすぐさまにいつカトリック教会がそうしたのかと聞きました、なぜなら私は彼らの歴史を読み、彼が言っていたことを見つけることができなかつたからです。彼はそれは聖書の中で見つけることができる、そしてイエスがカトリック教会を組織したと私に話しました。私は彼にペテロが本当に最初の教皇だと思

教会は組織から宗派へ移り、そして偽りの教えに入りました。そうです。ローマカトリックは神は御自身の御言葉の中におられることを信じません。いいえ。もし信じるなら彼らは悔い改めて戻るが、彼らは神は御自分の教会の中におられると言います。それは聖書の中身をカトリック教会の歴史へと変えてしまいます。そうではありません。彼らが水による洗礼に対しての取り扱いだけを見てみてください。彼らはクリスチャンの洗礼の代わりに異教の称号を作りました。

私とあるカトリックの司祭の話をお話ししましょう。私が洗礼した女の子があるときカトリック教徒になったので、その司祭は私に彼女について聞きたがっていました。彼は彼女はどのような洗礼を受けたのかと聞きました。私が知っている限りそれは一種類しかないが、彼女にクリスチャンの洗礼を施したと彼に教えました。私は主イエス・キリストの御名で彼女を水の中に埋めました。その司祭はある時期カトリック教会はそうしていたと私に話しました。私はすぐさまにいつカトリック教会がそうしたのかと聞きました、なぜなら私は彼らの歴史を読み、彼が言っていたことを見つけることができなかつたからです。彼はそれは聖書の中で見つけることができる、そしてイエスがカトリック教会を組織したと私に話しました。私は彼にペテロが本当に最初の教皇だと思

うのかと聞きました。彼はペテロだと強調して言いました。私は彼にミサは正しくそして変更されることなく行われるためにラテン語で行われるのかと聞きました。彼はそうだといいました。私は彼に彼らはさまよって最初のところから遠く離れてしまったと思うと話しました、もしカトリック教会が本当に使徒の働きを信じるなら、私は旧式なカトリック教徒だと彼に言いました。彼は聖書はカトリック教会の記録であり、そして神は教会の中におられたと私に言いました。私は彼に賛同することはできない、なぜなら神は御自身の御言葉の中におられるからです。

たとえすべての人が偽り者であるとしても、神は真実な方であるとすべきです[ローマ3:4]。あの書から何か取り除いたりつけ加えたりするなら、神は何かつけ加えた者には災いを加えられ、何か取り除いた者をいのちの書から除かれると約束されました。黙示録 22:18,19。

ローマ・カトリック教会がどのようにして神が御言葉の中ではなく教会の中におられるのを信じるのかについて話させてください。ここにヨハネ23世の日記からの抜粋があります。「教皇になって三年が経ち、『恐れおのき』ながら私は純粋な服従の心で主の御心に従い

うのかと聞きました。彼はペテロだと強調して言いました。私は彼にミサは正しくそして変更されることなく行われるためにラテン語で行われるのかと聞きました。彼はそうだといいました。私は彼に彼らはさまよって最初のところから遠く離れてしまったと思うと話しました、もしカトリック教会が本当に使徒の働きを信じるなら、私は旧式なカトリック教徒だと彼に言いました。彼は聖書はカトリック教会の記録であり、そして神は教会の中におられたと私に言いました。私は彼に賛同することはできない、なぜなら神は御自身の御言葉の中におられるからです。

たとえすべての人が偽り者であるとしても、神は真実な方であるとすべきです[ローマ3:4]。あの書から何か取り除いたりつけ加えたりするなら、神は何かつけ加えた者には災いを加えられ、何か取り除いた者をいのちの書から除かれると約束されました。黙示録 22:18,19。

ローマ・カトリック教会がどのようにして神が御言葉の中ではなく教会の中におられるのを信じるのかについて話させてください。ここにヨハネ23世の日記からの抜粋があります。「教皇になって三年が経ち、『恐れおのき』ながら私は純粋な服従の心で主の御心に従い

「しかし、神の堅固な土台は据えられていて、そこに次のような銘が刻まれています。『主はご自分に属する者を知っておられる。』」

2テモテ2:19。

「主は人の思いを探る者」[黙示録 2:23]

「探る」という言葉は「追跡」もしくは「ついて行く」を意味します。神は私たちの考え(思い)を追跡されま、私たちの心の中のものをご存知です。神は私たちの働きをご覧になり、その働きはしっかりと私たちの中にあるものを表わすのです。義も悪も心から出ます。私たちの動機、私たちの目的、神はすべてご存知で、なぜなら神は全ての行動を見ておられるからです。そして全ての行動、全ての言葉は私たちが自分の人生を神と会計する時に私たちを裁くものとなります。偽のぶどうの木は神を恐れないので、大きい代償を支払うことになりま。主の御名を呼ぶ者は皆聖徒のように生活をするべきです。私たちは人々を騙せるかもしれないが、主を騙すことはできません。

「しかし、神の堅固な土台は据えられていて、そこに次のような銘が刻まれています。『主はご自分に属する者を知っておられる。』」

2テモテ2:19。

「主は人の思いを探る者」[黙示録 2:23]

「探る」という言葉は「追跡」もしくは「ついて行く」を意味します。神は私たちの考え(思い)を追跡されま、私たちの心の中のものをご存知です。神は私たちの働きをご覧になり、その働きはしっかりと私たちの中にあるものを表わすのです。義も悪も心から出ます。私たちの動機、私たちの目的、神はすべてご存知で、なぜなら神は全ての行動を見ておられるからです。そして全ての行動、全ての言葉は私たちが自分の人生を神と会計する時に私たちを裁くものとなります。偽のぶどうの木は神を恐れないので、大きい代償を支払うことになりま。主の御名を呼ぶ者は皆聖徒のように生活をするべきです。私たちは人々を騙せるかもしれないが、主を騙すことはできません。

らなことをした人たちは死にます。この力がある世界教会システムは彼女の中に肉体的そして霊的な救いがあると世界を騙し、群衆を破壊します。しかし彼女は死の化身だけでなく、この死んだ腐肉からなる者はそれ自身死によって死に至らしめられ、すなわち火の湖です。彼女の中に留まった人々は自分たちの結末を見ます。「彼女のところから出て行きなさい[黙示録18:4]、なぜあなたたちは死のうとしているのですか。」

### 最終警告

黙示録2:23

「また、この女の子どもたちを死病で殺す。こうしてすべての教会は、わたしが人の思いと心を探る者であることを知る。わたしは、あなたがたの行いに応じて一人ひとりに報いる。」

神は心をご覧になります[1サムエル16:7]。それは決して変わらないことです。決して変わりません。ここで、時代を通して2つのグループがあり、両方とも自分が神から啓示を受け、神とつながっていると主張します。

らなことをした人たちは死にます。この力がある世界教会システムは彼女の中に肉体的そして霊的な救いがあると世界を騙し、群衆を破壊します。しかし彼女は死の化身だけでなく、この死んだ腐肉からなる者はそれ自身死によって死に至らしめられ、すなわち火の湖です。彼女の中に留まった人々は自分たちの結末を見ます。「彼女のところから出て行きなさい[黙示録18:4]、なぜあなたたちは死のうとしているのですか。」

### 最終警告

黙示録2:23

「また、この女の子どもたちを死病で殺す。こうしてすべての教会は、わたしが人の思いと心を探る者であることを知る。わたしは、あなたがたの行いに応じて一人ひとりに報いる。」

神は心をご覧になります[1サムエル16:7]。それは決して変わらないことです。決して変わりません。ここで、時代を通して2つのグループがあり、両方とも自分が神から啓示を受け、神とつながっていると主張します。

この奉仕を引き受けました。この御心は枢機卿会がコンクラーベによって私のところに伝えられ、この金言の証人になることは私がそれに忠実になるように動かし続けています。それは私に現在のすべてのことで完全に神を信じるようにさせ、完璧な平静な心で未来に向けさせます。」この教皇は神は教会を通して話され、御自分の御心を明かされると話しています。なんて嘘な話だ。神は御自分の御言葉の中におられ、そして御言葉によって話され、御自分の御心を明かされます。彼は自分が人の言葉に絶対的な信頼を置き、それによって平静な心で服従したとも言いました。とても美しく聞こえるがとても虚偽なことです。エデンの園でのこじつけと同じようなことです。

黙示録17章に戻って神の御言葉ではなく偽の予言の中で生きているこの婦人、すなわち教会を見てみましょう。第1節で神は彼女のことを大淫婦と呼ばれました。なぜ彼女は淫婦なのですか。それは彼女が偶像崇拜の中にいるからです。彼女は同じことをするように人々を巻き込みました。偶像崇拜を直すにはどうすればよいでしょうか。神の御言葉です。そのためこの婦人は御言葉を離れたため、淫婦なのです。そこで彼女は大水、それは多くの群衆のことを意味するのだが、その上に座っています。これはもちろん偽の教会のことであり、

この奉仕を引き受けました。この御心は枢機卿会がコンクラーベによって私のところに伝えられ、この金言の証人になることは私がそれに忠実になるように動かし続けています。それは私に現在のすべてのことで完全に神を信じるようにさせ、完璧な平静な心で未来に向けさせます。」この教皇は神は教会を通して話され、御自分の御心を明かされると話しています。なんて嘘な話だ。神は御自分の御言葉の中におられ、そして御言葉によって話され、御自分の御心を明かされます。彼は自分が人の言葉に絶対的な信頼を置き、それによって平静な心で服従したとも言いました。とても美しく聞こえるがとても虚偽なことです。エデンの園でのこじつけと同じようなことです。

黙示録17章に戻って神の御言葉ではなく偽の予言の中で生きているこの婦人、すなわち教会を見てみましょう。第1節で神は彼女のことを大淫婦と呼ばれました。なぜ彼女は淫婦なのですか。それは彼女が偶像崇拜の中にいるからです。彼女は同じことをするように人々を巻き込みました。偶像崇拜を直すにはどうすればよいでしょうか。神の御言葉です。そのためこの婦人は御言葉を離れたため、淫婦なのです。そこで彼女は大水、それは多くの群衆のことを意味するのだが、その上に座っています。これはもちろん偽の教会のことであり、

なぜなら神の教会は少人数で、それを見出す者はわずかです[マタイ7:13,14,16;ルカ12:32;13:23,24]。

彼女が人々にとっていかに素晴らしく映ろうと、哲理あるように聞こえようと、彼女が神の御目の前でどう映っているのかに注意してください。彼女はみだらに自分の淫行に酔いました[黙示録17:2]。今彼女は殉教者たちの血に酔いました[黙示録17:6]。まるで預言者と祭司たちを殺し、バアルに跪いて崇拝しなかった神の人々を破壊したイゼベルのようです[1列王18:4,13]。そしてそれはまさにカトリック教会がしたことです。彼らは教皇のルールに跪かなかつた人々を殺しました。人の言葉ではなく神の御言葉を望んでいた人々は処刑され、大抵残酷な処刑方法によってでした。しかしこの死と取引をする教会はそれ自身が死んだ者であり、自分がそれに気づいていないのです。彼女の中にはいのちがなく、彼女にしるしも伴いません。

### 悔い改める場所

黙示録2:21、

「わたしは悔い改める機会を与えたが、この女は淫らな行いを悔い改めようとしなさい。」

なぜなら神の教会は少人数で、それを見出す者はわずかです[マタイ7:13,14,16;ルカ12:32;13:23,24]。

彼女が人々にとっていかに素晴らしく映ろうと、哲理あるように聞こえようと、彼女が神の御目の前でどう映っているのかに注意してください。彼女はみだらに自分の淫行に酔いました[黙示録17:2]。今彼女は殉教者たちの血に酔いました[黙示録17:6]。まるで預言者と祭司たちを殺し、バアルに跪いて崇拝しなかった神の人々を破壊したイゼベルのようです[1列王18:4,13]。そしてそれはまさにカトリック教会がしたことです。彼らは教皇のルールに跪かなかつた人々を殺しました。人の言葉ではなく神の御言葉を望んでいた人々は処刑され、大抵残酷な処刑方法によってでした。しかしこの死と取引をする教会はそれ自身が死んだ者であり、自分がそれに気づいていないのです。彼女の中にはいのちがなく、彼女にしるしも伴いません。

### 悔い改める場所

黙示録2:21、

「わたしは悔い改める機会を与えたが、この女は淫らな行いを悔い改めようとしなさい。」

「獣は、聖徒たちに戦いを挑んで打ち勝つことが許された。」

迫害すること、神の御名が冒瀆されるように、真の信者を皆主の御名で処刑し、ロシアでさえもカトリックがそこで行った悪行でそうなったのです。

8節ではこう書かれています、

「地に住む者たちで、世界の基が据えられたときから、屠られた子羊のいのちの書にその名が書き記されていない者はみな、この獣を拜むようになる。」

神に感謝いたします、ひつじたちは彼を拜みません。選民以外皆騙されます[マタイ24:24]。しかし彼らは騙されません。なぜなら彼らは牧者の声を聞きそしてついて行くからです[ヨハネ10:4]。

今この点に注意してください、これが示そうとしていることです。この死の種、組織の種は一つ目の時代に始まり、最終的に木となって空の鳥が巣を作るようになります[マタイ13:31-32; 黙示録18:2]。彼女は自分はいのちを与える者だと主張しているにも関わらず、彼女は死を与える者です。彼女の実は死です。彼女と淫

「獣は、聖徒たちに戦いを挑んで打ち勝つことが許された。」

迫害すること、神の御名が冒瀆されるように、真の信者を皆主の御名で処刑し、ロシアでさえもカトリックがそこで行った悪行でそうなったのです。

8節ではこう書かれています、

「地に住む者たちで、世界の基が据えられたときから、屠られた子羊のいのちの書にその名が書き記されていない者はみな、この獣を拜むようになる。」

神に感謝いたします、ひつじたちは彼を拜みません。選民以外皆騙されます[マタイ24:24]。しかし彼らは騙されません。なぜなら彼らは牧者の声を聞きそしてついて行くからです[ヨハネ10:4]。

今この点に注意してください、これが示そうとしていることです。この死の種、組織の種は一つ目の時代に始まり、最終的に木となって空の鳥が巣を作るようになります[マタイ13:31-32; 黙示録18:2]。彼女は自分はいのちを与える者だと主張しているにも関わらず、彼女は死を与える者です。彼女の実は死です。彼女と淫

意味で、「アイゼンハワー」は鉄の意味です。世界の二人の主要な首脳、鉄と粘土の両足の2本の親指が、隣り合わせでした。私たちは全ての終わりにいます。

4節でそれは尋ねた、

「だれがこの獣と戦うことができるだろうか。」

今世界で何人かの偉大な人がいます。力がある国がいくつかあるが、現在はローマが全てを支配しています。教皇がハンドルを握っています。そして彼の力は増加します。誰も彼と戦うことはできません。

6節ではこう書かれています、

「獣は神を冒瀆するために口を開いて」

(人の命令を教えとして教え[マルコ7:7]、向こう見ずで、思い上がり、快樂を愛する者、見かけは敬虔であっても、敬虔の力を否定します[2テモテ3:4-5]。)彼は神の御名を冒瀆し、その御名をタイトルたちに変え、そしていかなる場合でも間違いを認めません。

第7節ではこう書かれています、

意味で、「アイゼンハワー」は鉄の意味です。世界の二人の主要な首脳、鉄と粘土の両足の2本の親指が、隣り合わせでした。私たちは全ての終わりにいます。

4節でそれは尋ねた、

「だれがこの獣と戦うことができるだろうか。」

今世界で何人かの偉大な人がいます。力がある国がいくつかあるが、現在はローマが全てを支配しています。教皇がハンドルを握っています。そして彼の力は増加します。誰も彼と戦うことはできません。

6節ではこう書かれています、

「獣は神を冒瀆するために口を開いて」

(人の命令を教えとして教え[マルコ7:7]、向こう見ずで、思い上がり、快樂を愛する者、見かけは敬虔であっても、敬虔の力を否定します[2テモテ3:4-5]。)彼は神の御名を冒瀆し、その御名をタイトルたちに変え、そしていかなる場合でも間違いを認めません。

第7節ではこう書かれています、

この教会は実際アハブよりもさらに悪い者であるのを知っていますか。アハブはしばらくの間悔い改め、神の御前で打ちひしがれて歩いたのを知っていますか。ローマ・カトリック教会に関してはそうは言えません。いいえ。彼女は一度も悔い改めることがなく、そして頑なに彼女が悔い改めるのを助けようとする者を皆破壊しました。それが歴史です。今神はそれぞれの時代に使者を起し続けられていただけでなく、それらの使者の素晴らしい助っ人たちをも何人か起こされました。神はそれぞれの時代に神の素晴らしい人々を与えられ、そして彼らはあらゆることをして教会を神のところに取り戻そうとしました。神は確かに彼女に悔い改める機会と助けを与えられました。彼女は悔い改め、実をもってそれを示しましたか? いいえ! 彼女は一度もそうしたことがなく、決してそうしません。彼女は酔った者です。彼女は霊的なことに感覚を失っているのです。

混乱しないで下さいね。ローマ・カトリック教会が自分の信条をプロテスタントの信条に合わせようとするのでプロテスタントと連合しようとするのを見てたら、それ彼女が聖徒たちを屠殺したことを悔い改めたと思わないでください。彼女は一度も謝罪して、その大屠殺は過ちだったと言ったことはありません。そして決してそうしません。この時代で彼女はいかに穏やかで甘いよ

この教会は実際アハブよりもさらに悪い者であるのを知っていますか。アハブはしばらくの間悔い改め、神の御前で打ちひしがれて歩いたのを知っていますか。ローマ・カトリック教会に関してはそうは言えません。いいえ。彼女は一度も悔い改めることがなく、そして頑なに彼女が悔い改めるのを助けようとする者を皆破壊しました。それが歴史です。今神はそれぞれの時代に使者を起し続けられていただけでなく、それらの使者の素晴らしい助っ人たちをも何人か起こされました。神はそれぞれの時代に神の素晴らしい人々を与えられ、そして彼らはあらゆることをして教会を神のところに取り戻そうとしました。神は確かに彼女に悔い改める機会と助けを与えられました。彼女は悔い改め、実をもってそれを示しましたか? いいえ! 彼女は一度もそうしたことがなく、決してそうしません。彼女は酔った者です。彼女は霊的なことに感覚を失っているのです。

混乱しないで下さいね。ローマ・カトリック教会が自分の信条をプロテスタントの信条に合わせようとするのでプロテスタントと連合しようとするのを見てたら、それ彼女が聖徒たちを屠殺したことを悔い改めたと思わないでください。彼女は一度も謝罪して、その大屠殺は過ちだったと言ったことはありません。そして決してそうしません。この時代で彼女はいかに穏やかで甘いよ

うに見えようと、いつか彼女は起きて殺人をする、なぜなら彼女の悪で悔い改めない心の中には殺意が潜んでいます。

### 淫婦の娘である教会

黙示録2:22-23

「見よ、わたしはこの女を病の床に投げ込む。また、この女と姦淫を行う者たちも、この女の行いを離れて悔い改めないなら、大きな患難の中に投げ込む。」

また、この女の子どもたちを死病で殺す。こうしてすべての教会は、わたしが人の思いと心を探る者であることを知る。わたしは、あなたがたの行いに応じて一人ひとりに報いる。」

何?この婦人には子どもたちがいるのですか。そして彼女は淫婦ですか。もしその場合、彼女は淫行によって子どもたちを産んだので、御言葉によると彼女は火によって焼かれなければいけない、それは絶対に真実です。それが彼女の最期で、なぜなら彼女は火によって焼かれます。彼女の結末は火の湖です。しかし立ち止

うに見えようと、いつか彼女は起きて殺人をする、なぜなら彼女の悪で悔い改めない心の中には殺意が潜んでいます。

### 淫婦の娘である教会

黙示録2:22-23

「見よ、わたしはこの女を病の床に投げ込む。また、この女と姦淫を行う者たちも、この女の行いを離れて悔い改めないなら、大きな患難の中に投げ込む。」

また、この女の子どもたちを死病で殺す。こうしてすべての教会は、わたしが人の思いと心を探る者であることを知る。わたしは、あなたがたの行いに応じて一人ひとりに報いる。」

何?この婦人には子どもたちがいるのですか。そして彼女は淫婦ですか。もしその場合、彼女は淫行によって子どもたちを産んだので、御言葉によると彼女は火によって焼かれなければいけない、それは絶対に真実です。それが彼女の最期で、なぜなら彼女は火によって焼かれます。彼女の結末は火の湖です。しかし立ち止

て彼女の力は絶対的だからです。彼女は王たちと商人たちを利用し、そして彼女の死に至らしめる宗教と財力をもって、彼女は現在の時代において女神として君臨しています。彼女は男の子を食べてしまおうと待っていた竜でもあります。ヘロデは主イエスを殺そうとしましたが、失敗しました。その後イエスはローマの兵士によって十字架につけられたが、今は御座に上げられました。

先言ったことを頭に入れつつ、ダニエルの幻を思い出してください。像の最後の部分で、最後の世界の力は足にありました。それは鉄と粘土からできていました。鉄はローマ帝国です。しかしそれはもはや今純粋な鉄ではありません。粘土がそこに混ざっています。しかしそれはそこにおいて、民主的な国々ともっと専制的な国々の間で世界の出来事を掌握しています。ローマ教会は全ての国々にあります。彼女は全ての国の中に混じっています。

鉄と粘土について少しお話ししたいです。フルシチョフが彼の靴を国際連合の机に叩きつけた時を覚えていますか。はい、そこには5個の東側の国々と、5個の西側の国々がありました。フルシチョフ東側を代表して発言をし、アイゼンハワー大統領は西側を代表して発言しました。ロシアにおいて、「フルシチョフ」は粘土の

て彼女の力は絶対的だからです。彼女は王たちと商人たちを利用し、そして彼女の死に至らしめる宗教と財力をもって、彼女は現在の時代において女神として君臨しています。彼女は男の子を食べてしまおうと待っていた竜でもあります。ヘロデは主イエスを殺そうとしましたが、失敗しました。その後イエスはローマの兵士によって十字架につけられたが、今は御座に上げられました。

先言ったことを頭に入れつつ、ダニエルの幻を思い出してください。像の最後の部分で、最後の世界の力は足にありました。それは鉄と粘土からできていました。鉄はローマ帝国です。しかしそれはもはや今純粋な鉄ではありません。粘土がそこに混ざっています。しかしそれはそこにおいて、民主的な国々ともっと専制的な国々の間で世界の出来事を掌握しています。ローマ教会は全ての国々にあります。彼女は全ての国の中に混じっています。

鉄と粘土について少しお話ししたいです。フルシチョフが彼の靴を国際連合の机に叩きつけた時を覚えていますか。はい、そこには5個の東側の国々と、5個の西側の国々がありました。フルシチョフ東側を代表して発言をし、アイゼンハワー大統領は西側を代表して発言しました。ロシアにおいて、「フルシチョフ」は粘土の

つの頭と十本の角を持ち、その頭に七つの王冠をかぶっていた。

その尾は天の星の三分の一を引き寄せて、それらを地に投げ落とした。また竜は、子を産もうとしている女の前に立ち、産んだら、その子を食べてしまおうとしていた。

女は男の子を産んだ。この子は、鉄の杖をもってすべての国々の民を牧することになっていた。その子は神のみもとに、その御座に引き上げられた。」

悪魔と彼の悪魔な宗教はこの2頭の獣です。黙示録14章で(編注:13章3節の間違えの可能性)、打たれて死んだと思われたが再び生きた獣は異教のローマ帝国が蛮族の猛攻撃を受けて俗事上の権利を失ったが、教皇ローマにおいて再びその権利を得たことです。わかりますか。全てを破壊することによってこれまでで最強な帝国になった国が、最終的に傷を受けて死にました。彼女は表面上は兵隊によって維持された力を失いました。しかし、コンスタンティヌス帝によって彼女は蘇った、なぜなら教皇ローマは全世界に浸透して、そし

つの頭と十本の角を持ち、その頭に七つの王冠をかぶっていた。

その尾は天の星の三分の一を引き寄せて、それらを地に投げ落とした。また竜は、子を産もうとしている女の前に立ち、産んだら、その子を食べてしまおうとしていた。

女は男の子を産んだ。この子は、鉄の杖をもってすべての国々の民を牧することになっていた。その子は神のみもとに、その御座に引き上げられた。」

悪魔と彼の悪魔な宗教はこの2頭の獣です。黙示録14章で(編注:13章3節の間違えの可能性)、打たれて死んだと思われたが再び生きた獣は異教のローマ帝国が蛮族の猛攻撃を受けて俗事上の権利を失ったが、教皇ローマにおいて再びその権利を得たことです。わかりますか。全てを破壊することによってこれまでで最強な帝国になった国が、最終的に傷を受けて死にました。彼女は表面上は兵隊によって維持された力を失いました。しかし、コンスタンティヌス帝によって彼女は蘇った、なぜなら教皇ローマは全世界に浸透して、そし

まってこれらの子どもたちについて少し考えて見ましょう。子どもは女性から出てくるものです。この婦人から子供たちが生まれ、そして彼ら子供たちは彼女がしたことと同じことをしたのは明らかです。組織から出てきて、そして組織に戻らなかった教会があったら教えてください。一つもないです。一つもない。ルター派は出てきてまた戻って組織化し、そして今日彼らはこのエキュメニカル運動と密接に連結しています。メソジスト派は出てそして組織化して戻りました。ペンテコステ派は出てそして組織化して戻りました。これから出てくるひと群れがいるが、そして神を賛美します、彼らは組織化して戻ることはない、なぜなら彼らは真理を知っているからです。そのグループは最後の日の花嫁になります。

ここで淫婦は子どもたちを持つと言っています。彼女たちは誰のことでしょう。彼女たちは娘たちで、なぜなら彼女たちはその婦人のような教会たちだからです。さてこれはとても面白いポイントです。イゼベルとアハブには娘がいました。その娘はヨシャファテの子ヨラムと結婚し、2列王8:18でそう書かれている、

「ヨラムは義理の父の道を歩んだ。」

彼はこの結婚によって偶像崇拜の中に入りまし

まってこれらの子どもたちについて少し考えて見ましょう。子どもは女性から出てくるものです。この婦人から子供たちが生まれ、そして彼ら子供たちは彼女がしたことと同じことをしたのは明らかです。組織から出てきて、そして組織に戻らなかった教会があったら教えてください。一つもないです。一つもない。ルター派は出てきてまた戻って組織化し、そして今日彼らはこのエキュメニカル運動と密接に連結しています。メソジスト派は出てそして組織化して戻りました。ペンテコステ派は出てそして組織化して戻りました。これから出てくるひと群れがいるが、そして神を賛美します、彼らは組織化して戻ることはない、なぜなら彼らは真理を知っているからです。そのグループは最後の日の花嫁になります。

ここで淫婦は子どもたちを持つと言っています。彼女たちは誰のことでしょう。彼女たちは娘たちで、なぜなら彼女たちはその婦人のような教会たちだからです。さてこれはとても面白いポイントです。イゼベルとアハブには娘がいました。その娘はヨシャファテの子ヨラムと結婚し、2列王8:18でそう書かれている、

「ヨラムは義理の父の道を歩んだ。」

彼はこの結婚によって偶像崇拜の中に入りまし

た。彼は神を恐れ、神を崇拜するユダ家を偶像崇拜の中に連れて入りました。先指し示したように、それは実にこれらのすべての娘教会がしたことです。彼女たちは真理から始まったが、組織に嫁入りし、そして伝統と信条などのために御言葉を離れます。この点について分かっしてほしいです。

ヘブル13:7でこう書かれています、

「神のことはあなたがたに話した指導者たちのことを、覚えていなさい。」

私たちが支配しているのは御言葉であり、人ではありません。ある夫である男性はその女性のかしらです。彼は彼女を支配します。しかし教会も女性で、彼女の支配者は御言葉です[エペソ5:23, コロサイ1:18,2:10,19]。イエスは御言葉です[ヨハネ1:14, 黙示録19:11-13]。もし彼女は御言葉を拒絶して他の頭をとったら彼女は淫婦です。伝統と信条のために御言葉を放棄する選択をしなかった教会があったら、教えてください。彼女たちはみな淫婦で、娘はその母親に似てきます。

淫婦とその子どもたちにはどのような罰が下されるのでしょうか。はい、それは二倍となるものです。ま

た。彼は神を恐れ、神を崇拜するユダ家を偶像崇拜の中に連れて入りました。先指し示したように、それは実にこれらのすべての娘教会がしたことです。彼女たちは真理から始まったが、組織に嫁入りし、そして伝統と信条などのために御言葉を離れます。この点について分かっしてほしいです。

ヘブル13:7でこう書かれています、

「神のことはあなたがたに話した指導者たちのことを、覚えていなさい。」

私たちが支配しているのは御言葉であり、人ではありません。ある夫である男性はその女性のかしらです。彼は彼女を支配します。しかし教会も女性で、彼女の支配者は御言葉です[エペソ5:23, コロサイ1:18,2:10,19]。イエスは御言葉です[ヨハネ1:14, 黙示録19:11-13]。もし彼女は御言葉を拒絶して他の頭をとったら彼女は淫婦です。伝統と信条のために御言葉を放棄する選択をしなかった教会があったら、教えてください。彼女たちはみな淫婦で、娘はその母親に似てきます。

淫婦とその子どもたちにはどのような罰が下されるのでしょうか。はい、それは二倍となるものです。ま

は熊の足のよう、口は獅子の口のようであった。竜はこの獣に、自分の力と自分の王座と大きな権威を与えた。

その頭のうちの一つは打たれて死んだと思われたが、その致命的な傷は治った。全地は驚いてその獣に従い、

竜を拝んだ。竜が獣に権威を与えたからである。また人々は獣も拝んで言った。『だれがこの獣に比べられるだろうか。だれがこれと戦うことができるだろうか。』

黙示録12:1-5、

「また、大きなしるしが天に現れた。一人の女が太陽をまとい、月を足の下にし、頭に十二の星の冠をかぶっていた。

女は身ごもっていて、子を産む痛みと苦しみのために、叫び声をあげていた。

また、別のしるしが天に現れた。見よ、炎のように赤い大きな竜。それは、七

は熊の足のよう、口は獅子の口のようであった。竜はこの獣に、自分の力と自分の王座と大きな権威を与えた。

その頭のうちの一つは打たれて死んだと思われたが、その致命的な傷は治った。全地は驚いてその獣に従い、

竜を拝んだ。竜が獣に権威を与えたからである。また人々は獣も拝んで言った。『だれがこの獣に比べられるだろうか。だれがこれと戦うことができるだろうか。』

黙示録12:1-5、

「また、大きなしるしが天に現れた。一人の女が太陽をまとい、月を足の下にし、頭に十二の星の冠をかぶっていた。

女は身ごもっていて、子を産む痛みと苦しみのために、叫び声をあげていた。

また、別のしるしが天に現れた。見よ、炎のように赤い大きな竜。それは、七

通してその影響力を広げていることを学びます。作られる像は世界規模のエキュメニカル協議会で、そこで全ての組織された教会はローマカトリックと一緒にになります(彼らは現在ですらそうしようとしています)。この連合が共産主義の力を止めようとして立ち上げられた可能性があります。しかし淫婦の体を燃やすためにネブカドネザルが起こされたように、共産主義も起こされ、ローマは打ち負かされそして破壊されます。ローマ教会がどこに行っても共産主義がついて行くことに留意してください。そうなるのです。そして今警告させてください、共産主義だけが敵だと思わないでください。いいえ。カトリック教会もです、むしろそっちが大きい敵です。

黙示録13:1-4を読んで、これを黙示録12:1-5と比べてみてください。

黙示録13:1-4、

「また私は、海から一頭の獣が上って来るのを見た。これには十本の角と七つの頭があった。その角には十の王冠があり、その頭には神を冒瀆する様々な名があった。

私が見たその獣は豹に似ていて、足

通してその影響力を広げていることを学びます。作られる像は世界規模のエキュメニカル協議会で、そこで全ての組織された教会はローマカトリックと一緒にになります(彼らは現在ですらそうしようとしています)。この連合が共産主義の力を止めようとして立ち上げられた可能性があります。しかし淫婦の体を燃やすためにネブカドネザルが起こされたように、共産主義も起こされ、ローマは打ち負かされそして破壊されます。ローマ教会がどこに行っても共産主義がついて行くことに留意してください。そうなるのです。そして今警告させてください、共産主義だけが敵だと思わないでください。いいえ。カトリック教会もです、むしろそっちが大きい敵です。

黙示録13:1-4を読んで、これを黙示録12:1-5と比べてみてください。

黙示録13:1-4、

「また私は、海から一頭の獣が上って来るのを見た。これには十本の角と七つの頭があった。その角には十の王冠があり、その頭には神を冒瀆する様々な名があった。

私が見たその獣は豹に似ていて、足

ず、主は言われました、「わたしは彼女を床に投げ込む。」22節の最後の部分によると、それは患難の床、もしくは大患難です。それは実にイエスがマタイ25:1-13で言われたことです。十人の娘がいました。五人は賢く、五人は愚かでした。賢い五人は油(聖霊)をもっていたが、他の五人は持っていませんでした。「花婿だ。迎えに出なさい」と叫ぶ声がした時、愚かな五人は油を探し求めに走らなければならなかったが、賢い五人の娘たちは婚礼の祝宴に入りました。外に残された五人は大患難の中で取り残されました。それが携挙の中に入らなかった人たちに起こることです。それが淫婦と彼女の娘たちに起こることです。次に、主は彼らを死で殺すと書かれている、もしくは文字通り解釈すると、「彼らに死によって死なせる」。これは奇妙な言い方です。一般的な言い方として、「絞首刑で死刑を執行する、もしくは電気刑や他のやり方で死刑を執行する」というのがあります。しかしここでは「彼らに死によって死なせる」と言っています。死自身が彼らの死の原因となっているのです。

これをはっきりと分かってほしいため、イゼベルの娘がユダ家に嫁ぎ、ユダ家を偶像崇拜の中に連れて入り、そして神がユダを死に処されたという例で説明しましょう。それがバラムも行なっていたことです。一方では

ず、主は言われました、「わたしは彼女を床に投げ込む。」22節の最後の部分によると、それは患難の床、もしくは大患難です。それは実にイエスがマタイ25:1-13で言われたことです。十人の娘がいました。五人は賢く、五人は愚かでした。賢い五人は油(聖霊)をもっていたが、他の五人は持っていませんでした。「花婿だ。迎えに出なさい」と叫ぶ声がした時、愚かな五人は油を探し求めに走らなければならなかったが、賢い五人の娘たちは婚礼の祝宴に入りました。外に残された五人は大患難の中で取り残されました。それが携挙の中に入らなかった人たちに起こることです。それが淫婦と彼女の娘たちに起こることです。次に、主は彼らを死で殺すと書かれている、もしくは文字通り解釈すると、「彼らに死によって死なせる」。これは奇妙な言い方です。一般的な言い方として、「絞首刑で死刑を執行する、もしくは電気刑や他のやり方で死刑を執行する」というのがあります。しかしここでは「彼らに死によって死なせる」と言っています。死自身が彼らの死の原因となっているのです。

これをはっきりと分かってほしいため、イゼベルの娘がユダ家に嫁ぎ、ユダ家を偶像崇拜の中に連れて入り、そして神がユダを死に処されたという例で説明しましょう。それがバラムも行なっていたことです。一方では

イゼベルと彼女の異教です。もう一方ではユダが正しく神を崇拜しそして御言葉のもとで生きています。そこでイゼベルは自分の娘をヨラムの元に嫁がせました。それが起こった途端、ヨラムは人々を偶像崇拜をする者たちにさせてしまいました。その結婚が行われるとユダは死にました。霊的な死が来ました。ローマの初めての教会が組織化した途端、それは死にました。ルター派が組織化した途端、死が入り、彼らは死にました。ペンテコステ派は最近出てきて、そして彼らは組織化しました。御霊は離れた、彼らはそう思いませんが、しかしそうなのです。その結婚は死をもたらしました。その後一神論の光が来ました。彼らは組織化してそしてまたもや死にました。神の火が1933年にオハイオ川に降り、世界を席卷する癒しのリバイバルをもたらしたが、それはどの組織からも来ていませんでした。神はペンテコステのグループの外におられ、組織の外におられ、将来なさることも組織の外でなさいます。神は死んだものを通して働かれることはできません。神は生きているメンバーを通してのみ働かれることができるのです。それらの生きているメンバーはバビロンの外にいます。

わかりますか、「死」もしくは「組織」が来た時、教会は死にました。あるいはもつとはっきり言うと、いのちによる短い支配が終わると、死が住民になりました。当初

イゼベルと彼女の異教です。もう一方ではユダが正しく神を崇拜しそして御言葉のもとで生きています。そこでイゼベルは自分の娘をヨラムの元に嫁がせました。それが起こった途端、ヨラムは人々を偶像崇拜をする者たちにさせてしまいました。その結婚が行われるとユダは死にました。霊的な死が来ました。ローマの初めての教会が組織化した途端、それは死にました。ルター派が組織化した途端、死が入り、彼らは死にました。ペンテコステ派は最近出てきて、そして彼らは組織化しました。御霊は離れた、彼らはそう思いませんが、しかしそうなのです。その結婚は死をもたらしました。その後一神論の光が来ました。彼らは組織化してそしてまたもや死にました。神の火が1933年にオハイオ川に降り、世界を席卷する癒しのリバイバルをもたらしたが、それはどの組織からも来ていませんでした。神はペンテコステのグループの外におられ、組織の外におられ、将来なさることも組織の外でなさいます。神は死んだものを通して働かれることはできません。神は生きているメンバーを通してのみ働かれることができるのです。それらの生きているメンバーはバビロンの外にいます。

わかりますか、「死」もしくは「組織」が来た時、教会は死にました。あるいはもつとはっきり言うと、いのちによる短い支配が終わると、死が住民になりました。当初

名が表す数字である。

ここに、知恵が必要である。思慮ある者はその獣の数字を数えなさい。それは人間を表す数字であるから。その数字は六百六十六である。」

この章はローマカトリックの力、そして彼女が組織を通して行うことを示しています。これは偽のブドウの木であることを覚えてください。それは主の御名を呼ぶが、偽りでそれをしてしています。そのリーダーは主ではなく悪魔です。それは最終的に獣と完全に同一化します。その淫婦は緋色の獣の上に乗っていて、彼女の力は圧力の神(悪魔)から来たものであり、私たちの神主イエス・キリストから来たのではないのをはっきりと示しています。

節では彼女が完全に世界の経済を掌握し、彼女から離れたら誰も商売をすることができないと強調しています。これは黙示録18:9-17でも言われており、彼女が王たち、王子たち、そして商人たちと関与していると示していて、それらは全てローマと商業と関連があるものです。

黙示録13:14で、獣が自分のために作られた像を

名が表す数字である。

ここに、知恵が必要である。思慮ある者はその獣の数字を数えなさい。それは人間を表す数字であるから。その数字は六百六十六である。」

この章はローマカトリックの力、そして彼女が組織を通して行うことを示しています。これは偽のブドウの木であることを覚えてください。それは主の御名を呼ぶが、偽りでそれをしてしています。そのリーダーは主ではなく悪魔です。それは最終的に獣と完全に同一化します。その淫婦は緋色の獣の上に乗っていて、彼女の力は圧力の神(悪魔)から来たものであり、私たちの神主イエス・キリストから来たのではないのをはっきりと示しています。

節では彼女が完全に世界の経済を掌握し、彼女から離れたら誰も商売をすることができないと強調しています。これは黙示録18:9-17でも言われており、彼女が王たち、王子たち、そして商人たちと関与していると示していて、それらは全てローマと商業と関連があるものです。

黙示録13:14で、獣が自分のために作られた像を

傷が治った最初の獣を拜ませた。

また、大きなしるしを行い、人々の前で火を天から地に降らせることさえした。

また、この獣は、あの獣の前で行うことが許されたしるしによって、地に住む者たちを感らし、剣の傷を受けながらも生き返ったあの獣の像を造るように、地に住む者たちに命じた。

それから、その獣の像に息を吹き込んで、獣の像がものを言うことさえできるようにし、また、その像を拜まない者たちをみな殺すようにした。

また獣は、すべての者に、すなわち、小さい者にも大きい者にも、富んでいる者にも貧しい者にも、自由人にも奴隷にも、その右の手あるいは額に刻印を受けさせた。

また、その刻印を持っている者以外は、だれも物を売り買いできないようにした。刻印とは、あの獣の名、またはその

傷が治った最初の獣を拜ませた。

また、大きなしるしを行い、人々の前で火を天から地に降らせることさえした。

また、この獣は、あの獣の前で行うことが許されたしるしによって、地に住む者たちを感らし、剣の傷を受けながらも生き返ったあの獣の像を造るように、地に住む者たちに命じた。

それから、その獣の像に息を吹き込んで、獣の像がものを言うことさえできるようにし、また、その像を拜まない者たちをみな殺すようにした。

また獣は、すべての者に、すなわち、小さい者にも大きい者にも、富んでいる者にも貧しい者にも、自由人にも奴隷にも、その右の手あるいは額に刻印を受けさせた。

また、その刻印を持っている者以外は、だれも物を売り買いできないようにした。刻印とは、あの獣の名、またはその

エバが人間に死をもたらしたのと同じように、今組織は死をもたらし、なぜなら組織は二重の破壊者であるニコライ主義そしてバラム主義の産物であり、女預言者イゼベルによって推進されたからです。エバはサーパントとの憎むべき行いのために共に焼かれるべきでした。しかしアダムは介入して、彼女を素早く自分のところに受け入れたので、彼女は救われました。しかしこのサタンの宗教がすべての時代を渡ってきた時、誰も介入することはなく、そして彼女は彼女を誘惑する者と共に焼かれます。なぜなら淫婦と彼女の子どもたちそしてアンチキリストそしてサタンは火の湖に入れられるからです。

この点に関して、話すのには少し早く、これを最後の時代のメッセージにとっておくべきかもしれないが、今これを話すのにはちょうど良いようで、なぜならそれはとてもはっきりと組織についてのこと、そしてそれを通して何が起るかについて説明するからです。そしてあなたに警告を発したいです。

黙示録13:1-18、

「また私は、海から一頭の獣が上って来るのを見た。これには十本の角と七つの頭があった。その角には十の王冠があ

エバが人間に死をもたらしたのと同じように、今組織は死をもたらし、なぜなら組織は二重の破壊者であるニコライ主義そしてバラム主義の産物であり、女預言者イゼベルによって推進されたからです。エバはサーパントとの憎むべき行いのために共に焼かれるべきでした。しかしアダムは介入して、彼女を素早く自分のところに受け入れたので、彼女は救われました。しかしこのサタンの宗教がすべての時代を渡ってきた時、誰も介入することはなく、そして彼女は彼女を誘惑する者と共に焼かれます。なぜなら淫婦と彼女の子どもたちそしてアンチキリストそしてサタンは火の湖に入れられるからです。

この点に関して、話すのには少し早く、これを最後の時代のメッセージにとっておくべきかもしれないが、今これを話すのにはちょうど良いようで、なぜならそれはとてもはっきりと組織についてのこと、そしてそれを通して何が起るかについて説明するからです。そしてあなたに警告を発したいです。

黙示録13:1-18、

「また私は、海から一頭の獣が上って来るのを見た。これには十本の角と七つの頭があった。その角には十の王冠があ

り、その頭には神を冒瀆する様々な名があった。

私が見たその獣は豹に似ていて、足は熊の足のよう、口は獅子の口のようであった。竜はこの獣に、自分の力と自分の王座と大きな権威を与えた。

その頭のうちの一つは打たれて死んだと思われたが、その致命的な傷は治った。全地は驚いてその獣に従い、

竜を拜んだ。竜が獣に権威を与えたからである。また人々は獣も拜んで言った。『だれがこの獣に比べられるだろうか。だれがこれと戦うことができるだろうか。』

この獣には、大言壮語して冒瀆のことは語る口が与えられ、四十二か月の間、活動する権威が与えられた。

獣は神を冒瀆するために口を開いて、神の御名と神の幕屋、また天に住む者たちを冒瀆した。

り、その頭には神を冒瀆する様々な名があった。

私が見たその獣は豹に似ていて、足は熊の足のよう、口は獅子の口のようであった。竜はこの獣に、自分の力と自分の王座と大きな権威を与えた。

その頭のうちの一つは打たれて死んだと思われたが、その致命的な傷は治った。全地は驚いてその獣に従い、

竜を拜んだ。竜が獣に権威を与えたからである。また人々は獣も拜んで言った。『だれがこの獣に比べられるだろうか。だれがこれと戦うことができるだろうか。』

この獣には、大言壮語して冒瀆のことは語る口が与えられ、四十二か月の間、活動する権威が与えられた。

獣は神を冒瀆するために口を開いて、神の御名と神の幕屋、また天に住む者たちを冒瀆した。

獣は、聖徒たちに戦いを挑んで打ち勝つことが許された。また、あらゆる部族、民族、言語、国民を支配する権威が与えられた。

地に住む者たちで、世界の基が据えられたときから、屠られた子羊のいのちの書にその名が書き記されていない者はみな、この獣を拜むようになる。

耳のある者は聞きなさい。

捕らわれの身になるべき者は捕らわれ、剣で殺されるべき者は剣で殺される。ここに、聖徒たちの忍耐と信仰が必要である。

また私は、別の獣が地から上って来るのを見た。それは、子羊の角に似た二本の角を持ち、竜が語るように語っていた。

この獣は、最初の獣が持っていたすべての権威を、その獣の前で働かせた。また、地と地に住む者たちに、致命的な

獣は、聖徒たちに戦いを挑んで打ち勝つことが許された。また、あらゆる部族、民族、言語、国民を支配する権威が与えられた。

地に住む者たちで、世界の基が据えられたときから、屠られた子羊のいのちの書にその名が書き記されていない者はみな、この獣を拜むようになる。

耳のある者は聞きなさい。

捕らわれの身になるべき者は捕らわれ、剣で殺されるべき者は剣で殺される。ここに、聖徒たちの忍耐と信仰が必要である。

また私は、別の獣が地から上って来るのを見た。それは、子羊の角に似た二本の角を持ち、竜が語るように語っていた。

この獣は、最初の獣が持っていたすべての権威を、その獣の前で働かせた。また、地と地に住む者たちに、致命的な